

4時で終わるのが4時を少し過ぎるかもしれませんが、なるべくこれからコンパクトに進めていきたいと思えます。

じゃあ、これから5分間の休憩に入ります。どうもありがとうございました。

午後3時27分休憩

午後3時32分再開

○阿部氏 それじゃあ、第2部に入らせていただきます。

4人の先生方、それと私と5人が、全く、要は内容調整をせずにお話を申し上げましたので、いろいろ食い違っているところとか等々ございます。まあ、それもあわせて質問を会場のほうから受ける形、残った時間が少のうございますので、会場のほうから受けたいと思えます。お立場とお名前だけおっしゃっていただいて、どなたに対する質問かということをおっしゃっていただいて、質問をしていただきたいと思います。

なるべくお一人1項目にさせていただいて、いっぱいあれすると、私の処理能力では難しいかと思えますが、お一人1項目ということで、また、ほかにないときは、また次にということにいたします。

それじゃあ、ご質問をどうぞ。挙手をお願いいたします。

はい。後ろの方。男性の方、どうぞ。

○質問者A 他区民でございます。非常にパネラーの方のお話、非常に現状としては参考になったんですが、幾つか——1点なんです。じゃあ一つだけ、歴史資産という観点から意見と、ちょっと質問していきたいと思えます。

パネラーの方たち皆さん、いわゆる橋のこととか、それから常磐橋が、高速道路が撤去になって景観的によくなるという話があったんですが、実は、ご存じのように、高速道路を撤去すると、石橋の常磐橋の先にあります震災復興橋の常磐橋、あれが建てかえられるというふうになっていますよね。それは架け替えるとじゃあどうなんだという、それは表面には出ていないんですが、恐らくホームページでも読んじゃうと、あれは普通の桁橋にかわっちゃうはずなんです。ですから、皆さん、景観的によくなるというふうに思われているかもわからないけど、実は皆さんが言っている、パネラーの方が言っている重要な震災復興橋の一つが、しかも非常に重要なアーチ橋が撤去されてしまうわけです。

それで、さらに、これはあんまり皆さん話題にしなかったんですが、首都高速道路とそれから東京都、そして千代田区の担当部局では、神田川と日本橋川にかかる橋を震災復興橋を含めて、いわゆるアーチ橋とか橋脚があるのは、河積阻害率というのがあるからということで、あれを全部かけかえようという計画をしているんですね。それは担当部局で私はご存じだと思うんですが、そういったことについて、もう少し皆さん、ただ単に景観的によくなる云々でなくて、もうちょっと目配りして、いわゆる重要な震災復興橋がなくなってしまうので、もう少しその辺を目配りした形での話、ないしはそういった話も出してほしかったというのが、まあ、この歴史遺産についての、たとえばは意味があります。そして、すみません、それであわせてね……

○阿部氏 あの……

○質問者A これを歴史遺産ということで1項目でやっているんですが、このアンケートについても、遺跡の保存期間……

○阿部氏 すみません。すみませんが、今のはどなたに対するご質問という。

○質問者A 皆さんですね。

○阿部氏 あの……

○質問者A だって、例えば……

○阿部氏 はい。

○質問者A 阿部さんは、常磐橋について、それで日本橋へ撤去されるという話をしましたけど、かけかえのことについては、何も言っていなかったと。目配りなかった……

○阿部氏 はい。じゃあ、ちょっと恐れ入ります。ほかの人にもチャンス。

○質問者A 岡田さんに対しては、……テイソとしたことを言うわけです。ですから皆さんに関連した質問かなというふうに思って、先に質問させていただきました。よろしくお願いします。

○阿部氏 はい。わかりました。

じゃあ、まず保科さんから、ちょっと答えを。はい。

○保科環境まちづくり部長 はい。保科でございます。私のほうからお答えをさせていただきます。

今ご質問いただきました常磐橋ですね。先ほど私のほうでご紹介させていただいたのは、「石」を書く、人しか渡れない石橋の常磐橋。で、そのすぐ河梁に、車両も渡れる区道の上にかかった常盤橋がございます。で、今ご指摘ありましたとおり、この日本橋の上空にかかる首都高速道路が地下化されると、この常磐橋を一時撤去するという話があるのは、それは存じ上げております。それもこれもご指摘のとおり、今の川にかかる橋というのは、いわゆるアーチ橋につくってしまいますと、水の流量がそこで阻害されてしまいますので、さまざまな課題がある。そこは、例えば同じアーチ橋を復旧するにしても、下をもうちょっと掘るとかさまざまな技術的なもんがあるんじゃないのかなとは思っております。

ただ、今現在、私どものほうで具体的な相談があるわけではございません。ただ、そうしたような重要——課題認識を持っているということは事実です。で、常磐橋も、この車道の常盤橋、両方ともですね、区の景観重要物件でございます。ですので、その辺も含めた形で、今後東京都も含めて折衝していくことになろうかと思っております。今現在は、まだ具体の相談がございませんので、ちょっと今の段階では、正確なお答えはちょっとしかねるので、そこはちょっとご勘弁いただきたいと思います。

○質問者A 要するに内部検討はしているんじゃないですか。内部検討はしていると……

○保科環境まちづくり部長 申しわけございません。私どもの中では、内部検討はまだしてございません。あくまでも首都高速道路の地下化に伴って、さまざまな検討が国を中心になされているという状況です。今現在どういう形の広報をするかということ自体も決まっていないというふうに聞いてございます。当然しかるべき時期になれば、区のほうにも相談がいただけるものというふうに考えてございます。

○阿部氏 そういう意味では、私どものほうでもその話は具体的には聞いておりませんが、特にコメントする用意はございませんでした。

ほかの方で、どなたかありますか。特に……

○岡田氏 いいですか。

○阿部氏 はい。

○岡田氏 今、ちょっと発言をした方が名前を名乗らなかったですけど、千代田区のまち



づくりの景観の重要景観に指定したときの景観審議委員の伊東先生。で、今、常磐橋の復興の整備の副座長で、今基本的な中心をやられている方で、自分で名前を名乗らなかったんで、ちょっと皆さん違和感があったかと思うんですけど。ちゃんと名乗ってください。

ということで、先ほど私どもがやっておりますように、大丸有さん、三菱地所さん、それから三井不動産さんのNPO法人の日本橋地域ルネッサンス100年委員会さんと一緒に、私どもも常盤橋フォーラムという、常盤橋地域のそういった資産を活性化させ、そしてまた保存していくという活動をやっておりまして、その中で、この間、協議会の中でそういった話が出まして、まあやはり復興橋が次々とそうやっていく中で、それをやはり皆さんで、先ほど私申し上げたように、都市防災のそういった記憶ということで、世界に誇る遺産として残していかなければいけないわけですから、そういったものもこういった集会を含めて、重要性を皆さん方に理解をしていただいて、そういった動きが出てきたらば、また保科部長を含めて、皆さんで地域で考えていく機会にしたらどうかと思いますけど。

○阿部氏 ありがとうございます。

いずれにしても、この問題は、具体的に上がってきたとすれば、かなり大きな問題ですので、今の伊東先生も含めて一緒に議論するという場ができることを期待させていただきます。ありがとうございます。

次に、次にご質問。はい、どうぞ。

○質問者B ありがとうございます。きょうのね、約2時間の……

○阿部氏 すみません。ちょっとお名前を皆さんに。

○質問者B ごめんなさい。千代田区民のヤマザキと申します。環境ボランティアでかなり活動しています。素人です。

きょうのこのセミナーで、私、素人ながらの将来の水辺のビジョンができ上がりました。とてもハッピーです。特に高速道路、あれがもう本当に長い間違和感を感じていましたんで、まあ長い期日はとるでしょうけれども、結果的に結論として地下へ潜るということですね。そう解釈してよろしいわけですよ。きょうの一応お話の中では。（発言する者あり）

○阿部氏 それは、今、私に対する質問でございますか。（発言する者あり）

○質問者B ああ、待って、皆さん、そういうふうに理解されたと思っていますよ。

○阿部氏 いやいや、恐らくここにいらっしゃる議員さんも、私は議員さんに問いかけたつもり。千代田区は何にも物を申しませんでしたねと。ですから、千代田区は地下化になりませんよ、ちょうど大手町のところから竹橋まではこのまま残るんでよろしいんですかというふうに問いかけたことですので、地下化になるのは日本橋のところだけということ、これは誤解のないように。

○質問者B それは地下に潜るわけですよ。

○阿部氏 いや、それも、具体的にどうなるかというのは、これはその筋で検討していますが、かなり難しいと。逆に。

○質問者B ……たらということですか。はい。（発言する者あり）

○阿部氏 そうですね。2.8キロ、竹橋からがいつの間にか、「そんなに」と呼ぶ者あり）神田橋からの1.8キロ。まあこれは、実際にはすごい大変な、どっちかという、もう撤回したほうがいいんじゃないですかと、その地下化というのはと。そのくらいき